

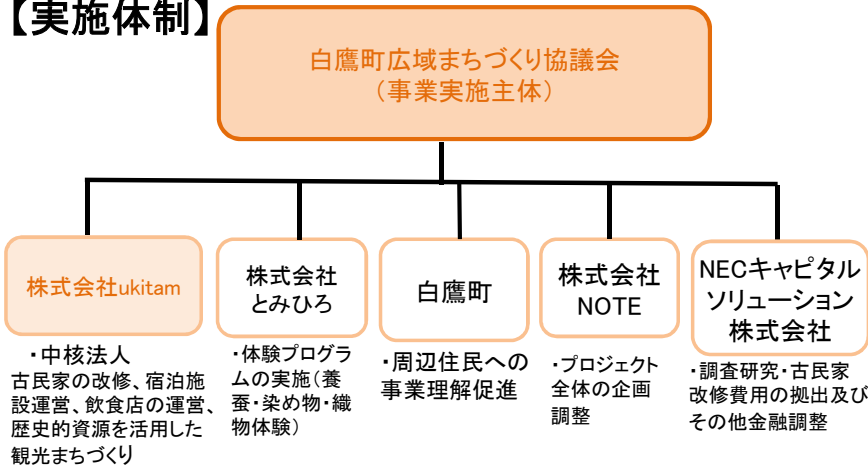
田舎の原風景が残っている白鷹町を再度養蚕の里として復活させ、養蚕・染織・和裁・着付けなど一貫した、かつ、本物の着物体験ができる里として「着物ツーリズム」を核とした白鷹町の面的な活性化を目指す。また、白鷹町の紅花(日本農業遺産)や地元の食文化を融合し、食と農業をテーマとして農村の活性化に取り組んで行く。

山形県白鷹町



【採択年度】
令和元年度
【事業実施期間】
令和元～2年度

【実施体制】



【特徴的な取組】

- ①上杉鷹山公の殖産興業政策の要所となった白鷹町浅立地区奥山源内邸(五蔵)を活用し、宿泊・飲食や各体験プログラムの中心的な拠点施設として整備
- ②白鷹町の中心市街地の空き家等も活用し、味噌・和紙づくり、紅花染め体験などの文化体験プログラムも形成。
- ③白鷹町全体を一体的で魅力的な着物ツーリズムを通じた農村の「暮らし」を体験できる観光圏域としてプロモーションをしていく。



(左写真)高玉芝居。200年以上の伝統を受け継ぐ笑いあり涙ありの人情劇。釜の越桜の下で毎年上演される。(上中央)白鷹赤すももワイン(上右)鯉の甘煮

【取組内容】

- ・ 中心的に活用する対象の空き家を決め、中心となる空き家周辺地域(開発エリア)のゾーニングプランなどを検討
- ・ 空き家の活用方法が決まったら調査や改修方法について専門家を招聘して、本プロジェクトの企画コンセプトペーパーや集客戦略・金融機関からの調達戦略などを含む事業計画の策定
- ・ 養蚕業・養蚕農家などを復活させ、染め物、織物と併せながらどのようにツーリズムとして活用していくのかを専門家を招聘しながら検討
- ・ その他、既存の地元体験コンテンツについても磨き上げを行う。
- ・ 上記の造成した体験プログラムについて、欧米豪のインバウンドや(株)とみひろのメイン顧客となる着物に対する興味関心が強い国内富裕層をメインターゲットとしてモニターツアー等を実施する。
- ・ 造成した体験プログラムを欧米豪のターゲットに発信するためMovieやHP等を作成し、SNSやYouTube等での拡散を図る。
- ・ 上記と並行して、農泊先進地(美濃など)の視察を行い、先進事例の調査及び研究も行う。



活用を検討している空き家(奥山源内邸)

インバウンド対応状況(青:対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約



畔藤田植え踊り



きつね祭り。キツネの嫁入りの行列に扮し、真っ赤な衣装と顔に化粧をした奴(やっこ)など総勢140人が町を練り歩く